

特定保守製品
日本国内専用

TOTO

浴室暖房乾燥機

TYR620型

■この商品は、平成21年4月1日施行の消費生活用製品安全法(消安法)で指定される「特定保守製品」です。
■商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。
■取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。

安全上のご注意

必ずお守りください

取り付け前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。

●この説明書では商品を安全に正しく取り付けいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっております。

Table with 2 columns: 表示 (Warning symbols) and 意味 (Meanings: 一般禁止, 分解禁止, 必ず実行, etc.)

Table with 2 columns: 表示 (Warning symbols) and 意味 (Meanings: 回転物禁止, アースを必ず接続せよ, 必ず実行)

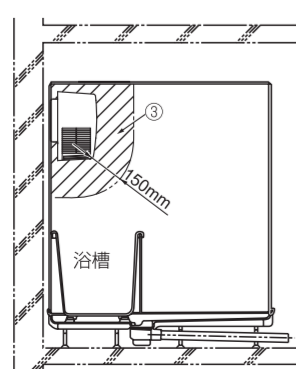
Main safety table with 2 columns: 注意 (Warnings) and 意味 (Meanings). Includes sections for fan/heater safety, power connection, and grounding.

Table with 2 columns: 注意 (Warnings) and 意味 (Meanings). Includes sections for installation location, rotation, and handling.

お願い

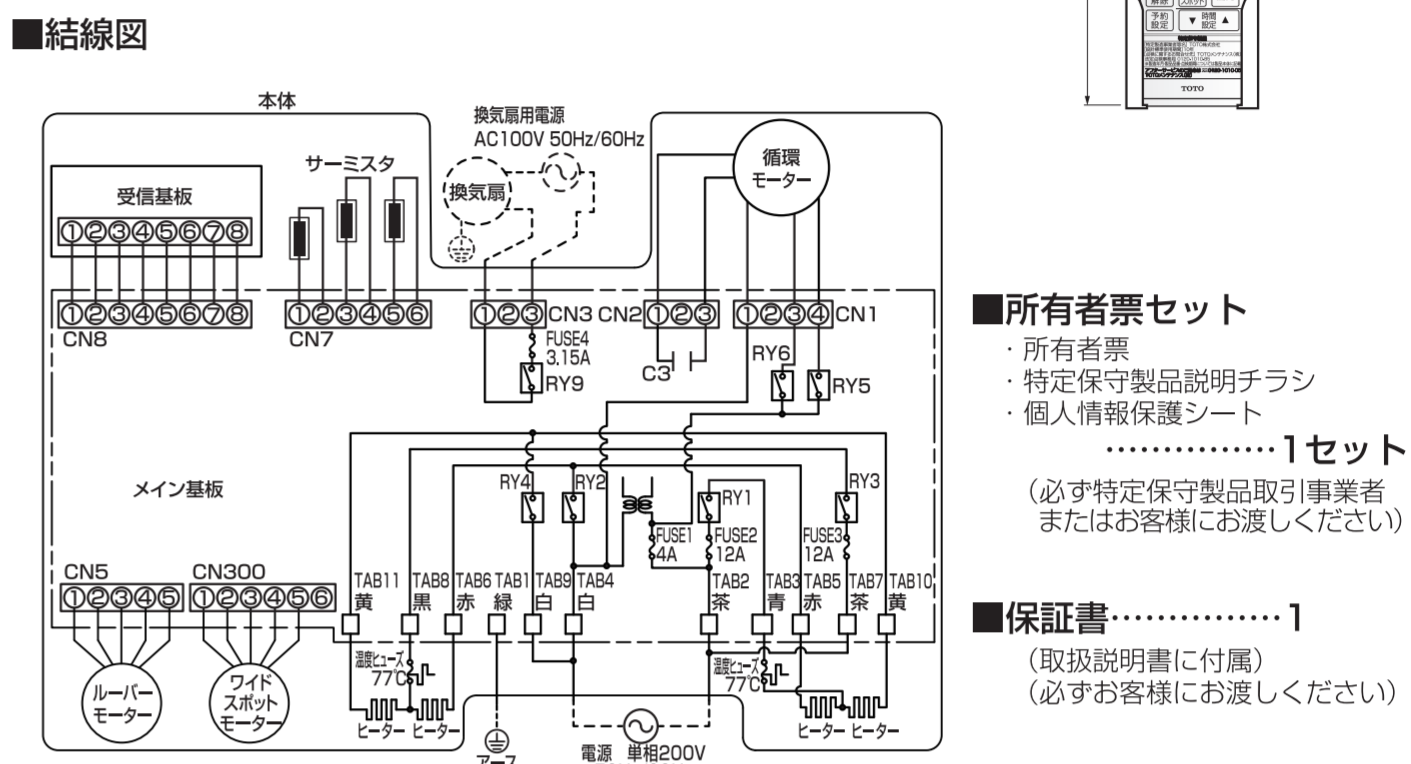
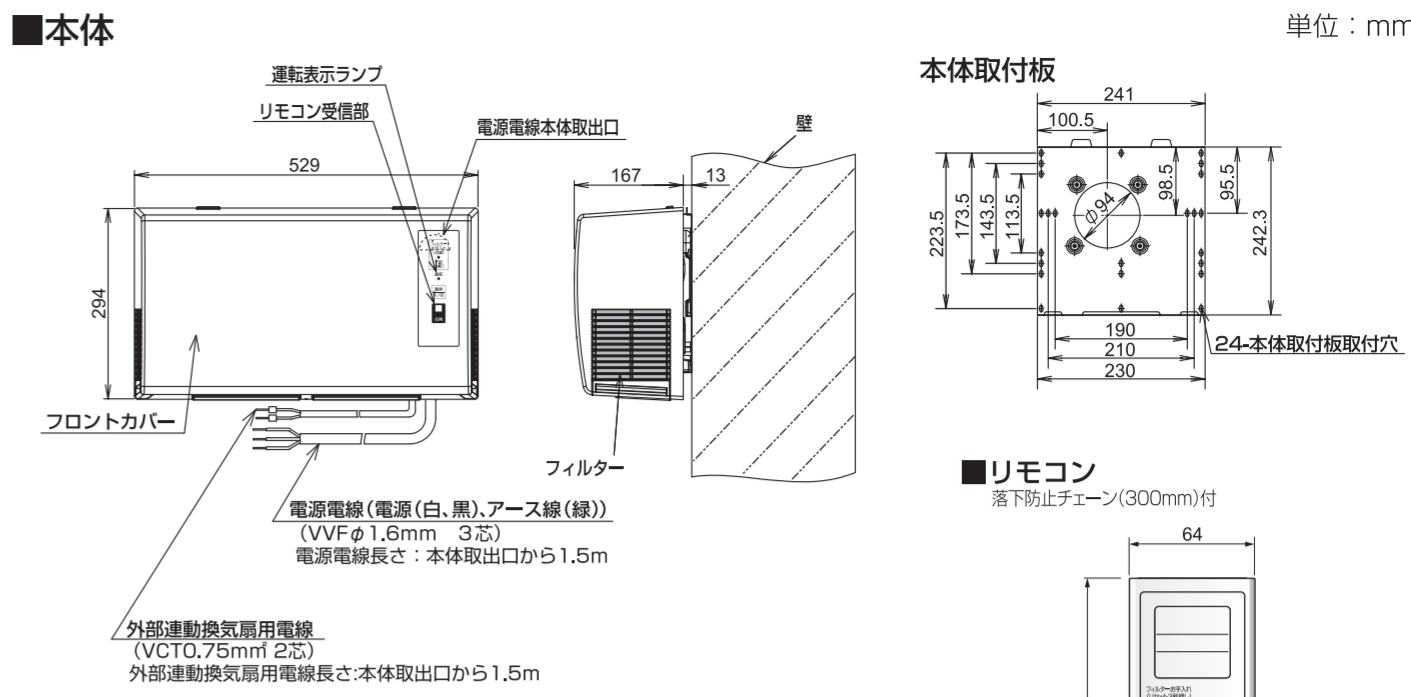
- 商品本体は傾かないよう(水平)に設置してください。
■浴室の広さは、以下をめやすとしてください。
■ペンジン・シンナーなどの有機溶剤を使う場所に取り付けしないでください。
■商品の取り付けには下記のような規制を受けますのでご確認ください。
■一般家庭の浴室に取り付けてください。
■TOTO製以外のユニットバスで鋼板の厚さが0.45mm未満の場合は壁補強を行ってください。
■温泉または温泉を取り込んだ浴室に取り付けしないでください。
■スチームサウナ・ミストサウナ付の浴室に取り付けしないでください。
■油煙の発生する場所に取り付けしないでください。
■スプレーを使う場所に取り付けしないでください。
■高温になる場所に取り付けしないでください。
■本体は、テレビ、ラジオ、無線機およびそのアンテナ線から0.5m以上離して施工してください。
■工事の際に、商品本体内部へ石膏ボードの粉などの侵入がないよう、十分注意してください。
■樹脂製部品取り付けの際は、ねじを締めすぎて商品を破損させないよう、締め力に十分注意してください。
■効果的な換気のため、吸気口を必ず設置してください。
■本体、リモコンは直射日光や蛍光灯の近くなどの強い光が当たる場所に設置しないでください。
■ランドリーパイプの取り付け位置は、当社推奨位置の寸法で取り付けてください。(指定の寸法以外で取り付けますと、乾燥時間が長くなります)

- ①設置場所は一般住宅の浴室に限ること。
②本体は壁面に堅固に取り付けること。
③浴室内への温風吹出口および空気吸込口の前方150mm未満の範囲内には、造営材など(乾燥する衣類、照明器具、手すりを含む)を設けないこと。(熱による変形、変色のおそれがあります)
④漏電遮断器を設けること。



各部の名称と寸法

お願い この商品専用の付属品あるいは指定のもの(別売品)以外は使用しないでください。

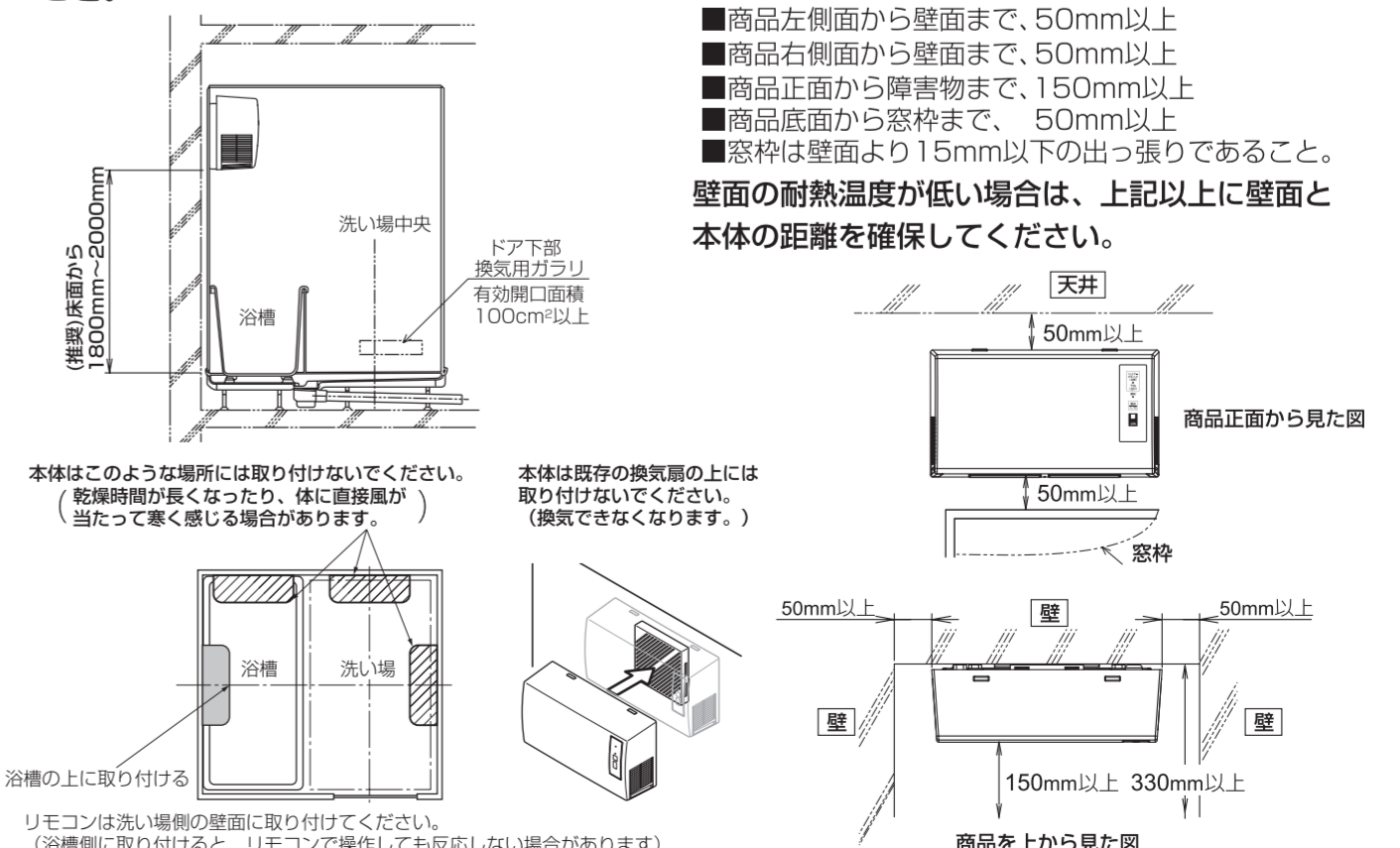


- 付属品 末尾の数字は数量をあらわします。
タッピンねじ(φ4×50)6
タッピンねじ(φ4×16 黒)2
タッピンねじ(φ4×16)2
差込形コネクタ5
キャップ5
棒端子2
取扱説明書1
施工説明書(本書)1
取付設置業者様へのおお願い1
乾電池(単4形)2

Table with 4 columns: 電源電線, アース線, アース棒, 防水ジョイントボックス, etc. and their specifications.

1 設置位置の決定

- 1.背後の浴室壁面または浴室天井面に、電源電線および外部連動換気扇用電線を取り出すための貫通穴をあける。
2.本体の周囲に適切なすき間があること。
3.リモコンは本体が受信できる位置に取り付ける。



2 本体取付板の設置

1.本説明書裏面の型紙を水平に壁にあて、本体取付板ねじ穴位置（6カ所）の印を壁に付ける。

2.下穴をあける前に、本体取付板を印を付けた穴位置に合わせ、水準器を使用して水平度を再度確認する。

3.本体取付板ねじ穴位置に下穴をあける。

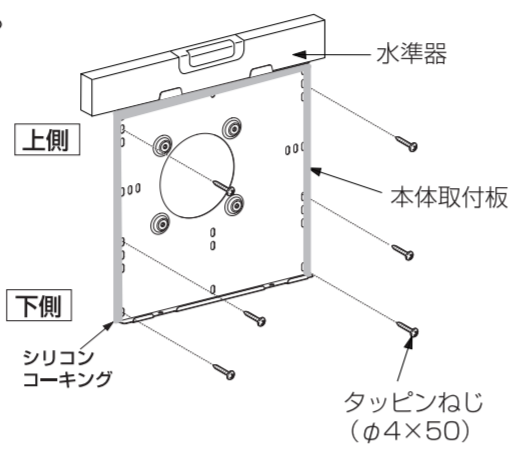
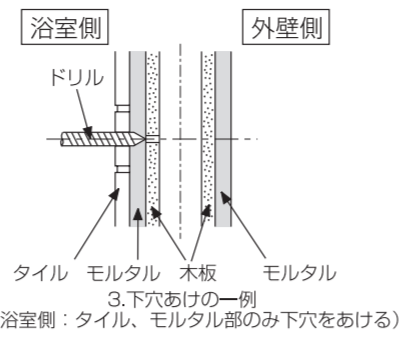
- 浴室の内・外壁の現状確認を行い、タイル・壁等が損傷している場合には、お客様に説明し、了解を得ておくか、事前に補修を行っておいでください。
- タイルやタイル目地での下穴あけについては、タイルを破損しないよう十分注意してください。
- ねじ締め前に下穴の周囲にシリコンを塗布してください。
- 下穴径は、壁面の材質に合わせてあけてください。
- ※ユニットバスの場合、下穴径φ2.8以下とする。

4.本体取付板を浴室の壁にタッピンねじ（6個）で取り付ける。

- この商品は7.3kgあります。本体取付板は、堅固に、また確実に浴室の壁に密着するように取り付けてください。
- タイル壁・モルタル壁の場合、市販のアンカープラグを使用して、確実に取り付けてください。
- ユニットバスの場合、下穴にシリコンを注入し、ねじは手締めして取り付けてください。
- ※ユニットバスと建築躯体間のすき間が小さい場合、躯体を傷つけないよう市販の短いタッピンねじ(φ4・SUS304製)を使用してください。
- 水準器などで水平を確かめてから取り付けてください。

5.本体取付板を取り付け後、本体取付板周囲（下辺を除く）およびねじ止め部をシリコンにてコーキングする。

- 水抜きのため下辺はシリコンコーキングしないでください。

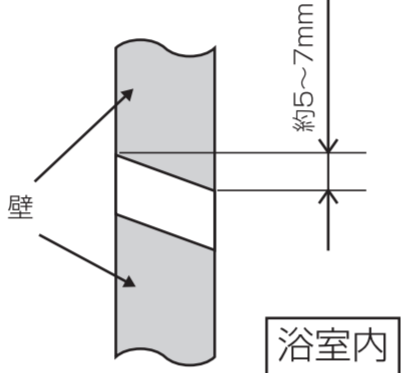


3 電線取出穴をあける

外壁で電線を接続する場合

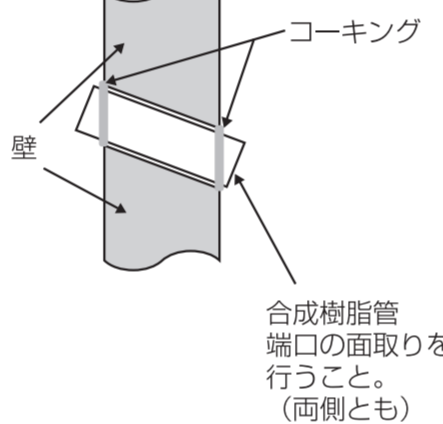
1.本体取付板の丸穴（φ94）内の適当な位置に電線取出穴をあける。

- 電線取出穴は壁裏センサーを用いるなどして、壁裏の間柱、筋かい、ユニットバスの補強材などを回避してください。
- 電線取出穴の穴径は、使用する合成樹脂管（内径φ40以上）の外径に合わせてください。
- 浴室から水漏れ防止のため、電線取出穴に右図のように勾配をつけてください。



2.電線取出穴に市販の合成樹脂管（内径φ40以上）を通し、コーキングで固定する。

- 合成樹脂管は、コーキング代として、壁厚より10~15mm長く切断してください。また、切断した端面は、リーマーなどで端口の処理を行ってください。



天井裏で電線を接続する場合

1.天井面の壁面に近い適当な位置に電線取出穴をあける。

- 電線取出穴の穴径は、φ40で開けてください。

4 本体の取り付け

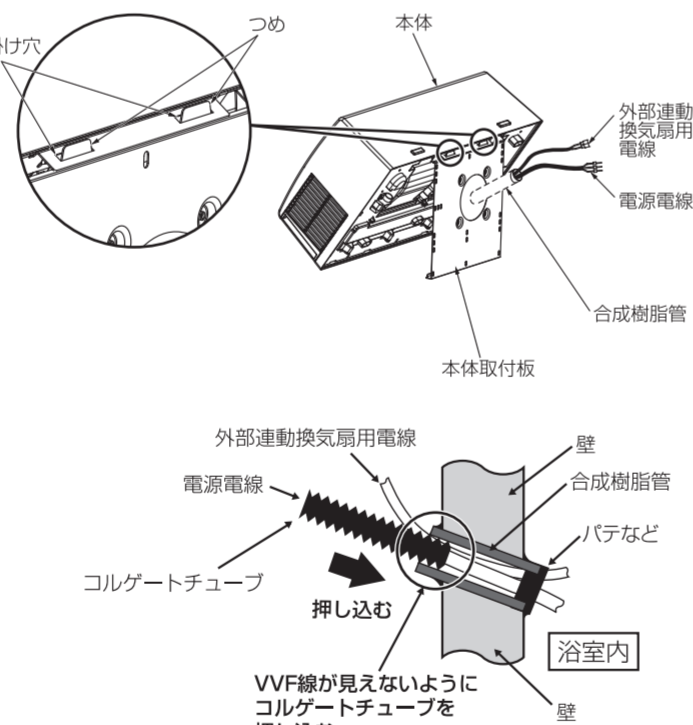
外壁で電線を接続する場合

1-1.本体の引っ掛け穴を本体取付板のつめに引っ掛ける。そのままの状態では本体の電源線と外部運動換気扇用電線を合成樹脂管に通す。

- 本体取付板の丸穴（φ94）の端面で電源線および外部運動換気扇用電線を破損しないよう十分注意してください。

1-2.湿気やすき間風などがもれないよう、合成樹脂管の浴室側をパテなどで仕上げる。

- 合成樹脂管からVVF線が見えている場合は、結束バンドを切って、コルゲートチューブを合成樹脂管の中に入れ、VVF線を必ずカバーしてください。



天井裏で電線を接続する場合

1.本体の引っ掛け穴を本体取付板のつめに引っ掛ける。

共通

2.本体固定部を本体取付板の上側に差し込み、本体を固定する。

- 本体固定部が本体取付板の上側に入っていないと固定できません。

3.本体取付板と本体を付属のタッピンねじ（2個）で固定する。

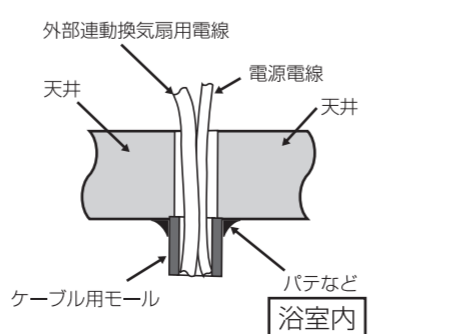
注意

- 忘れずに必ず固定してください。（ロングドライバーにて手締めを取り付けてください）ねじ締め後、確実に固定されていることを確認してください。

天井裏で電線を接続する場合

4.電源線および、外部運動換気扇用電線を天井裏へ通し、浴室内に露出している電源線および外部運動換気扇用電線をケーブル用モール等で覆う。

5.湿気やすき間風などがもれないよう、天井に開けた穴の浴室側をパテなどで仕上げる。

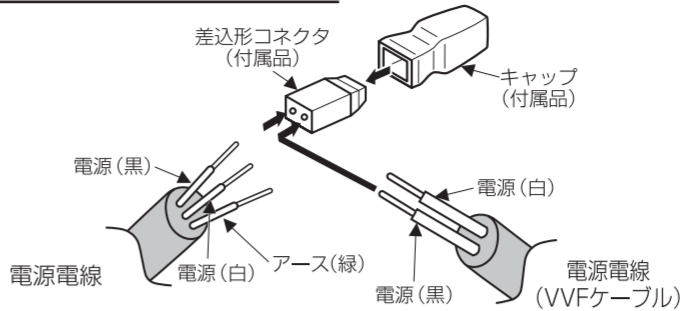


5 電源の接続

1.ジョイントボックス(市販品)の中で、電源電線(アース線含む)および外部運動換気扇用電線を付属の差込形コネクタを使い、右下の結線図に従って結線する。

2.差込形コネクタに付属のキャップを奥までかぶせる。(5カ所)

電源電線(黒)を接続する場合

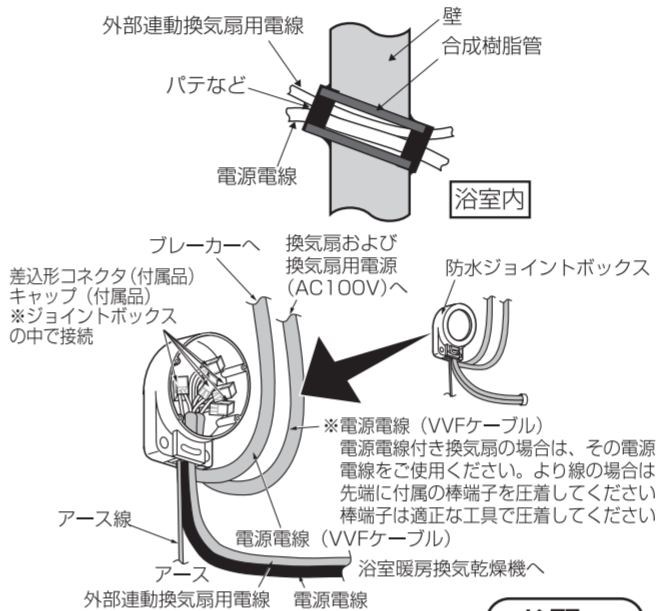


- 電源は必ず分電盤の専用ブレーカーに接続してください。
- 電源電線のアース線(緑)は必ず接続してください。[D種接地工事]
- 電源電線はVVFケーブルφ1.6またはφ2を使用してください。細い心線の電源電線を使用すると、発熱により発火のおそれがあります。
- 外部運動換気扇用電線は途中で切断しないでください。
- 換気扇のアース線は絶対にはずさないでください。
- プラグは使用しないでください。
- 電源は必ずAC200Vを使用して、各電源電線先端の棒端子は付属の差込形コネクタの奥まで確実に挿入してください。間違った電源を使用したり不十分な配線をする、火災や故障の原因となります。
- 換気扇用スイッチは使用できなくなりますので、スイッチカバー等でふさいでください。
- 電源電線はバンドなどで束ねて収納しないでください。発熱により発火のおそれがあります。

外壁で電線を接続する場合

必ず防水タイプのジョイントボックスを使用してください。

3.湿気やすき間風などがもれないよう、合成樹脂管の外壁側をパテなどで仕上げ、防水ジョイントボックスを使用し電線を接続する。

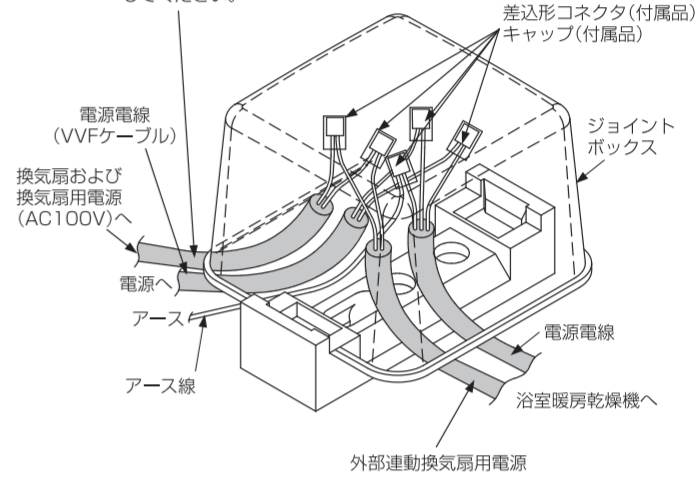


- VVF線が見えないようにコルゲートチューブを押し込む
- お願い 室外ではVVF線が露出しないようにコルゲートチューブで覆ってください。

天井裏で電線を接続する場合

3.ジョイントボックスを使用し電線を接続する。

- 電源電線(VVFケーブル)電源電線付き換気扇の場合は、その電線をご使用ください。より線の場合は、先端に付属の棒端子を圧着してください。棒端子は適正な工具で圧着してください。



6 リモコンの取り付け

1.取り付け位置を決定する。

- リモコンには約300mmの落下防止チェーンが付いています。(取り付け位置はお客様とご相談のうえ決定してください)

浴室外設置の場合

- 浴室のドアを開けてリモコン受信部に向けて無理なく操作できる位置に設置してください。

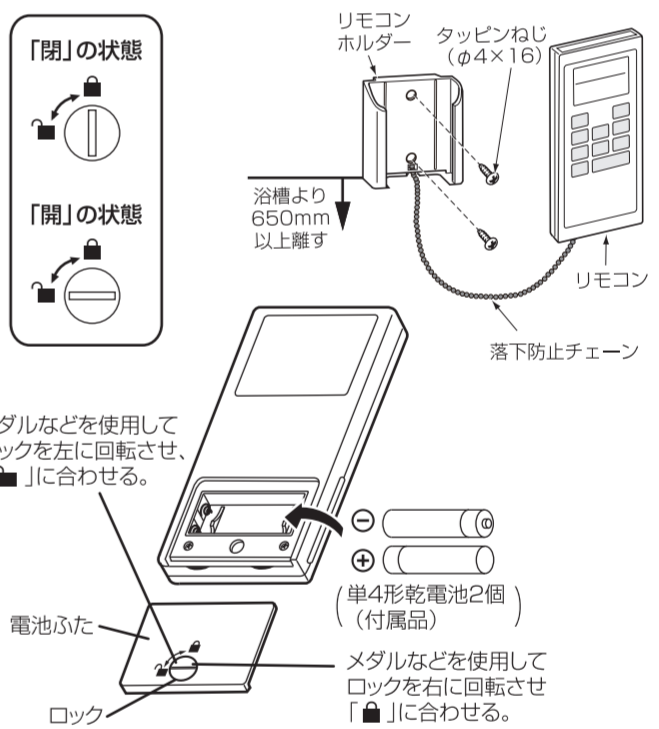
浴室内設置の場合

- シャワーなどの水がかかりにくい場所に設置してください。
- 浴槽の上は避けてください。
- 取り付けの高さは浴槽より650mm以上高くしてください。
- 洗い場側の壁に取り付けてください。(商品を取り付けている壁面への設置はしないでください)

2.リモコンホルダーを付属のタッピンねじ（2個）で固定する。

- 取り付け位置が石膏ボードやタイルなどの場合、ねじが取り付かないことがありますので、その際は市販のアンカープラグを使用してください。
- 浴室内設置の場合はねじ穴は必ずシリコンでコーキング処理を行ってください。はみ出したシリコンコーキング材は拭き取ってください。

3.リモコンに電池を入れる。



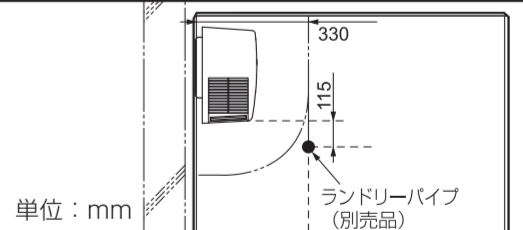
お願い

- 電池ふたを開閉するときはメダルなどを使用してください。ドライバーを使用するとロックが破損する可能性があります。
- 電池ふたのロックは表示されているマークの範囲位置を超えないように回してください。
- 電池ふたを閉めるときは、電池ふた部のゴムに髪の毛やホコリなど異物を挟み込まないように注意し、確実に閉めてください。異物が付着した場合は、柔らかい布でふき取ってください。

7 ランドリーパイプの取り付け

右記の位置に、ランドリーパイプ(別売品)を取り付ける。

- 指定の寸法以外で取り付けますと、乾燥時間が長くなります。



8 試運転

取扱説明書の「使いかた」のページを参照し、試運転を行い異常がないか確認する。

異常についての内容、処置については取扱説明書の「故障かな!?'のページを参照する。

- 引き渡しまで期間があく場合は、試運転確認後、リモコンの電池を抜き、取扱説明書とともにお客様にお渡しください。

<試運転の内容>

1. 各モードのボタンを押して、正常に動作していることを確認する。(全モード)
2. 止ボタンを押して、運転を停止させる。

9 確認事項のチェック

右記の確認表に従い、確実に施工したかを再度確認してください。施工できていれば✓チェックを記入してください。

試運転のあとは

- 工事店様へ施工後は、同梱の「取扱説明書(保証書付き)・所有者票セット」をお客様へお渡ししてから、商品の使いかたを説明してください。取扱説明書に付属の保証書には、店名および取り付け日必ず記入してください。

チェック内容	チェック欄
商品がしっかりと付いていますか?	
商品の周囲に適切なすき間がありますか? ([1] 設置位置の決定を参照)	
ランドリーパイプの取り付け位置は正しいですか? ([7] ランドリーパイプの取り付けを参照)	
異常音はありませんか?	
電源電線・アース線の接続は確実に行われていますか?	
電源は単相AC200Vに接続されていますか? (AC100Vに接続されると動作しません)	